

中施策評価書

作成日 令和05年 4月 14日

中施策事業名	家庭児童相談室事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	01 子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない		
②大施策	子ども高齢者障がい者等への虐待やDV等を減らす		
③中施策	家族等、子ども、高齢者、障がい者等を支援する人の日常生活に関する悩みや不安を解消する		
④中施策事業の対象	児童及びその家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	日常生活に関する悩みや不安を解消する場があることを知っており、それを活用することにより、地域での孤立や問題の重篤化を予防できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭児童相談室事業 ・巡回支援事業 ・サポートブック事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
家庭相談室の相談 件数		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	2,600	2,600	2,700	2,700	2,700
		実績値	3,278	3,940			
単位	件						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			4,569千円	2,361千円	
a 事業費合計			4,569千円	2,361千円	2,655千円
人 件 費	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
	人件費合計		0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			4,569千円	2,361千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			66円	34円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>評価指標の実績は前年度に引き続き目標値を上回った。相談件数の総数が大きく増加し、相談種別としては障がい等が増加し、児童虐待が微減した。家庭における問題が複雑化しており、全体としての相談件数は増加傾向にあるが、児童虐待に至る前に早期に対応したことにより、児童虐待件数としては微減したものと考えられる。また、本課所管の案件について重層的支援体制整備事業にて関係機関と協力し、課題解決を行った。令和4年度中に家庭相談員の募集を行い、令和5年度当初から専門的な知識を有する職員の配置を行うことができた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	児童の支援にかかわる各機関が互いの業務を理解し、スムーズに連携が取れるよう、関係機関と情報交換や打ち合わせを頻繁に開催し、相談の質を向上させる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	地域における子育て世帯の孤立を防止するため、関係機関と地域における見守り体制について協議する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 4月 14日

中施策事業名	児童虐待・DV対策事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子

①めざすまちの姿	01 子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない
②大施策	子ども高齢者障がい者等への虐待やDV等を減らす
③中施策	関係機関と連携して早期発見と素早い対応に努める
④中施策事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童及びその家族、関係者等 ・DV被害者及びその家族、関係者等
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民や関係機関が虐待やDVについての知識を持ち、必要な時に通報や連携支援を行うことにより、対象が早期に必要な支援を受けることができる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会 ・DV相談事業 ・児童保護等の支払

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
要保護児童対策地域協議会の管理家庭数		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	100	100	70	70	70
		実績値	49	76			
単位	件						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			10,980千円	4,474千円	
人件費	a 事業費合計		10,980千円	4,474千円	6,580千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			2,669千円	1,541千円	2,873千円
③ コスト(①-②)			8,311千円	2,933千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			121円	43円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>要保護児童対策地域協議会で見守る家庭の数は、前年度に比べ増加した。これは、家庭の問題が深刻化・複合化する傾向がある中、当該家庭にとってより良い解決策が提案できるよう、積極的に要保護児童対策地域協議会にて管理し、多様な専門機関と連携して対応を図ったためと考える。また、令和3年度から令和4年度に向けて決算額が減少しているが、会計年度職員の配置が4名から2名に減少したことが要因となっている。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	課題を抱える家庭にとってより良い解決策が提案できるよう、多様な専門機関と連携を強化していく。また、子どもの虐待等を早期に発見できるよう、児童虐待防止推進月間における市民向けの虐待予防啓発活動を実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	児童虐待家庭が地域で孤立することに伴う虐待の発見の遅れや深刻化を防ぐため、関係機関・地域における見守りを強化する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 12日

中施策事業名	児童扶養手当給付事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子

①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する
③中施策	家族を支援するサービスを充実させる
④中施策事業の対象	ひとり親家庭の児童及び保護者等
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	支援をもれなく受けることにより、経済的負担が軽減し、安定した生活を送ることができている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童扶養手当 ・ 愛知県遺児手当・豊明市遺児手当

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
現況届回収率		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	99.6	99.7	99.8	99.8	99.8
		実績値	97.3	99.5			
単位	%						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			197,385千円	188,728千円	
人件費	a 事業費合計		197,385千円	188,728千円	200,947千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			60,008千円	56,847千円	60,323千円
③ コスト(①-②)			137,377千円	131,881千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			1,996円	1,916円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>現況届の回収率は昨年度から若干増加し、成果指標としては目標値をほぼ達成している状況である。児童扶養手当の現況届は例年8月の1か月間、来庁を原則として行っている。これは、対象家庭の状況を対面により直接聞き取ることで、より確実に把握するためであり、また、必要な支援につなぐため、今後も継続していきたいと考える。また、令和4年度からひとり親支援施策事業を児童係に移管したため、受給者等に寄り添った相談を実施し、手当による経済支援のみならず、ひとり親家庭の個々の状況に応じた、複合的な支援を行うことができた。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ワンストップの相談支援体制のさらなる強化を図り、支援を必要とするひとり親が相談窓口確実につながるように、分かりやすい情報提供と相談窓口への誘導を行いつつ、より個々の実情に応じた、寄り添い型支援を行える体制を整備し、相談の「質」の向上を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、国等の動向に注力しながら、手当による経済支援のみならず、ひとり親家庭の個々の状況に応じた、複合的な支援を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 4月 27日

中施策事業名	ひとり親支援施策事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	多様な主体者が連携し、家族を支える環境をつくる		
④中施策事業の対象	ひとり親家庭の児童及び保護者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安定した就労や日常生活に関する支援を受けることにより自立した生活が送れるようになる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援相談事業 ・ 母子自立支援給付金事業 ・ 母子日常生活支援事業 ・ 母子家庭等児童入学記念品事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
ひとり親家庭の相談支援件数(実件数)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	40	40	45	45	45
	実績値	43	41			
単位	件					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		6,309千円	7,016千円		
a	事業費合計	6,309千円	7,016千円	5,568千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		4,999千円	5,399千円	3,731千円	
③ コスト(①-②)		1,310千円	1,617千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		19円	23円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>相談実人数は昨年度とほぼ横ばいで推移しており、成果指標としては目標値を達成している状況である。令和4年度からひとり親支援施策事業の所管を児童扶養手当担当の児童係に移管し、ワンストップで相談を受けられる体制となったため、一定程度相談ニーズはキャッチできていると考えるが、その相談内容は年々複雑化している。また、令和4年10月から全面有料化した市内駐輪場の定期利用料に対して補助金を交付し、経済的な支援と併せて、ひとり親家庭の多様なニーズをキャッチする機会を創出した。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ワンストップの相談支援体制のさらなる強化を図り、支援を必要とするひとり親が相談窓口確実につながるように、分かりやすい情報提供と相談窓口への誘導を行いつつ、より個々の実情に応じた、寄り添い型支援を行える体制を整備し、相談の「質」の向上を図る。また、ハローワークとの協定に基づき、さらなる連携を図り、役割分担しつつ、より効果的な就業支援を推進する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	ひとり親家庭への支援施策は、生活支援・就業支援・経済的支援など他分野にわたり、相互に関連するため、個々のニーズに応じた複雑な組み合わせが必要となる。今後、ひとり親家庭の多様なニーズをワンストップでキャッチし、必要な支援に「つなぐ」機能を強化していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 子どもの生活・学習支援事業	内容、理由、時期等 ひとり親家庭の子どもに対し、居場所づくりと学習支援を令和6年度から実施できるよう関係各所と協議する。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 10日

中施策事業名	児童館管理運営事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる		
④中施策事業の対象	児童及びその家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	児童館を拠点とした子育て支援事業や地域との連携した事業により、地域ぐるみの子育てができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 児童館の維持管理・運営事業 児童館の指定管理事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
児童館利用者アンケートにおける満足度の割合	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100	100			
単位	%					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		130,763千円	125,534千円		
a	事業費合計	130,763千円	125,534千円	138,936千円	
	人件費	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		130,763千円	125,534千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,900円	1,824円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>利用者アンケートにおける満足度は100%を維持している。児童館の職員が温かく接してくれて、多くの子育て中のママとも交流することができて、満足しているという声などを伺っている。令和4年度は全児童館を指定管理として3年目の年であり、ウィズコロナの児童館の運営について、指定管理者と適切に連携を図りながら、利用者の安全とともに、エッセンシャルワーカーである職員の安全も確保しながら地域の居場所を確保してきた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	子育て支援課の職員が令和5年度も引き続き愛知県児童館連絡協議会の役員であり、活動研究委員会の委員として研究をまとめる年であるため、他市町の管理運営状況などを各指定管理者にフィードバックすることで、児童館の効率的かつ効果的な管理運営に生かしていく。また、令和5年度中にはサウンディング調査を実施するなど、令和6年度に実施するプロポーザルに向けて、関係各所と適切に協議を実施していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和7年度からの指定管理者を決めるプロポーザルを令和6年度中に実施する予定であり、新たな事業者と新たな子どもの居場所として様々な機能や役割をこれまで以上に発揮し、子どもや保護者に寄り添い、誰もが安心安全に利用できる場所を目指す。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 ひまわり児童館大規模改修事業	内容、理由、時期等 令和6年度よりひまわり児童館において南部地区の子育て支援拠点としての機能を展開できるように、大規模改修工事に合わせて機能の拡充を図る。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 南部児童館駐車場整備事業	内容、理由、時期等 安全に送迎できる環境を整えるため、南部児童館の駐車場を整備する。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 7月 25日

中施策事業名	児童福祉地域活動事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる		
④中施策事業の対象	児童及びその家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 <small>(対象をどのようにしたいですか)</small>	地域が主体となった子育て支援事業や地域との連携した事業により、地域ぐるみの子育てができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生児童委員事業 ・ 児童遊園地設置費等補助事業 ・ 子ども会活動費補助事業 ・ 地域組織育成費補助事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
補助団体で活動する人数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	178	180	185	185	185
	実績値	183	170			
単位	人					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		6,583千円	6,790千円		
人件費	a 事業費合計	6,583千円	6,790千円	6,487千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 <small>(事業費に含む)</small>	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		6,583千円	6,790千円		
市民一人あたりコスト <small>(③/市の人口(評価対象年度末時点))</small>		96円	99円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価B</p> <p>西部児童館で活動していた母親クラブが解散したことにより、補助団体に活動する人数が昨年度と比較して減少しており、成果指標としても目標値を達成できなかった。しかしながら、特に地域で管理している児童遊園地の遊具等の修繕費等への補助については、年4回の遊具等の点検結果を管理者と共有し、改修等の改善を実施することができた。また、子ども会連絡協議会への事業費・運営費への補助、共生交流プラザ等で活動する母親クラブへの補助など地域の活動への支援を通じて、地域が主体的に子育て支援事業を行う環境をつくることができた。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	児童遊園地の遊具等の劣化が進行しており、遊具等の点検結果等をもとに、引き続き管理者と協議しながら、安全なあそび場を確保していく。その他、地域活動を支援することで、地域ぐるみでの子育て環境を確保していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	民生児童委員と適切に連携し、地域で子育てを支え、子どもたちを見守るネットワークづくりへの支援を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 12日

中施策事業名	子育て支援センター事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	家庭や地域が子どもを大切に思い、支え合うことができるまちを醸成する		
④中施策事業の対象	児童のいる家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	子育て支援センターを拠点とした子育て支援事業や相談事業により、子どもとその家族が安心して楽しく子育てができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・子育て支援センター事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間利用人数		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	12,500	17,000	17,000	20,000	20,000
		実績値	9,870	27,879			
単位	人						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			9,721千円	14,065千円	
人件費	a	事業費合計	9,721千円	14,065千円	14,748千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			9,721千円	14,065千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			141円	204円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>共生交流プラザで開場したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、利用人数や利用時間の制限を設けていたこともあり、人とのつながりを求めて来所希望される方には希望に添えない場面もあったかと思うが、土曜日開催しているために父親の育児参加の機会が増えてきた。共生交流プラザ内の施設であるため、多世代に子育て支援センターの存在を周知できた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	共生交流プラザ内における地域子育て支援拠点として、母子保健事業と連携を図りながら地域づくりを担い、地域のニーズに合わせた事業展開や、子育て中の家庭のみでなく、立地条件を生かした多世代の交流が図れる展開を検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	子育て世帯に対して交流、参加、学びの機会を提供し、共生交流プラザ内における地域子育て支援拠点において、様々な相談を受け止め、複雑化、複合化した問題については他機関の連携により対応し、必要な支援につないでいく。さらに、支援が届いていない人に支援を届けるため、訪問等を通じて継続的につながり続ける支援を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 10日

中施策事業名	妊娠出産子育てワンストップ事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	家庭や地域が子どもを大切に思い、支え合うことができるまちを醸成する		
④中施策事業の対象	妊娠期から就学前までの子どもとその親 乳幼児～小学生のいる家庭		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	妊娠期より心配なことがあれば相談することができ、安心して子育てでき、子どものいる親が安心して働くことができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	ネウボラ推進(情報発信、支援プラン、ファミサポ、産後ケア事業・養育支援訪問、関係機関との協議会)、家庭訪問		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
支援プラン作成件数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	50	50	50	50	50
	実績値	58	51			
単位	延件数					
ふあみさぼ利用件数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	実績値	2,558	3,014			
単位	延件数					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		117,800千円	155,234千円		
a	事業費合計	117,800千円	155,234千円	189,620千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	50,852千円	61,692千円	
③ コスト(①-②)		117,800千円	104,382千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,712円	1,517円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>妊娠期から切れ目ない支援を実施するため、母子手帳交付時にすべての妊婦に保健師が面接し必要な支援につなぐことができた。また、必要に応じて医療機関や助産所とケースカンファレンス等連携を図った。また、産後ケアや養育支援訪問の利用期間延長や宿泊型産後ケア施設に大学病院を加えることにより、更なる支援の充実と連携調整を図り適切な支援介入の体制を整えた。産後ケアの利用は1人、デイケアについては1人。養育支援訪問は5人。多胎児世帯支援においては妊婦健診受診票の上乗せ交付を実施している。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>経済的、精神的な不安を抱える家族が増え、課題が複雑化している現状を鑑み、妊娠期からの支援方針を決定するにあたっては、心理専門職による専門的知見を得て判断することとし、関係機関との連携も更に強化する。地域子育て支援拠点（子育て支援センター）での妊娠期の教室を開催するなど、妊娠期から支援センターをはじめとして切れ目のない支援をつないでいくように図っている。また、これらの情報発信ツールとして、子育てアプリを活用して、子育て情報を子育て世帯に広めたい。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>支援プラン作成時等の日常的な情報共有を密に行い、複雑なケースにも組織的な対応をぶれなく展開できるよう、関係機関との連携を強化する。</p> <p>出産子育て応援交付金事業等を継続し、経済的支援と伴走型相談支援を一体的に行う。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名 産後ケア事業	<p>内容、理由、時期等</p> <p>委託先により異なる実費負担内容を平準化し、利用者負担を軽減する。</p>
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 低所得妊婦への初回受診料支援事業	<p>内容、理由、時期等</p> <p>妊婦の初回健診をためらわず受診でき、妊婦健診未受診を防ぐ。</p>
今後、休廃止する事業	事業名	<p>内容、理由、時期等</p>

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 12日

中施策事業名	児童手当給付事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	ゆとりを持って男女共に子育てを楽しむことができるよう応援する		
④中施策事業の対象	児童及びその家族等		
⑤中施策事業の意図 <small>(対象をどのようにしたいですか)</small>	支援をもれなく受けることにより、経済的負担が軽減し、ゆとりある生活が送れるようになっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童手当給付事業 ・ 特別児童扶養手当給付事業 ・ その他臨時特別給付事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
現況届回収率		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	100	100	100	100	100
		実績値	99.3	93.3			
単位	%						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		2,270,641千円	1,341,787千円		
人件費	a 事業費合計	2,270,641千円	1,341,787千円	1,054,025千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 <small>(事業費に含む)</small>	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		2,006,270千円	1,032,107千円	890,391千円	
③ コスト(①-②)		264,371千円	309,680千円		
市民一人あたりコスト <small>(③/市の人口(評価対象年度末時点))</small>		3,842円	4,500円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>現況届が原則不要となり、要届け出対象者15名中1名回収できず回収率が減少するもほぼ全ての家庭に児童手当の支給ができています。現況届未提出の場合、6月以降支給できなくなるため、もれなく支給できるよう引き続き対象家庭に案内等を行う。なお、令和3年度に0歳から18歳までの児童一人当たり10万円を支給した給付金(国制度)は実施せず、臨時的な給付金の支給総額は減額となったものの、子育て世帯臨時特別給付金(県制度)に加え、豊明市独自の給付金として子育て応援給付金(県制度の対象者拡大と所得制限撤廃)や出産育児給付金を支給し、子育て世帯への支援を行った。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	児童手当法の改正に伴い、令和4年6月から現況届の提出が原則不要となり、提出が必要な世帯は限定的であるため、過年度分も含めて引き続き案内を行う。また、臨時的な給付金なども含め、国等の動向を把握し、制度等の情報を分かりやすく確実に周知することで、子育て世帯の支援をもれなく行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	国が掲げる異次元の少子化対策の一つとして、所得制限の撤廃や支給期間を高校卒業までの延長、多子世帯への加算など児童手当を中心とした経済的支援の強化が検討されており、国として今後3年間で加速化して取り組む子ども・子育て政策を本市としても好機ととらえ、子育て世代のニーズを把握し、真に必要とされる子育て世帯への支援について検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 4月 27日

中施策事業名	子ども子育て計画事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	ゆとりを持って男女共に子育てを楽しむことができるよう応援する		
④中施策事業の対象	子ども、子育てに携わる人		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	次世代を担う子どもたちが安心して生き生きと健やかに成長し、子どもを安心して生み育てられ、子育てするなら豊明市と思われるまちになっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども子育て支援事業計画策定・進行管理 ・ 子ども・子育て会議 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
計画中对象となる子どもの受入体制が維持できていない事業数(全13事業中)		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
単位	事業	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			93千円	65千円	
a	事業費合計		93千円	65千円	2,310千円
	人件費	正規職員	人数	0人	0人
		b 金額	金額	0千円	0千円
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	人数	0人	0人
		金額	金額	0千円	0千円
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			93千円	65千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			1円	1円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>第2期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの年であり、国が見直しを要する基準とした幼児教育・保育の提供についての実績値等による軽微な改定のためパブコメは実施しなかったが、実績値の把握、実績値と量の見込みとの比較、要因分析等を実施し、中間見直し案を取りまとめた上で、子ども・子育て会議を2回開催し、適切な時期に協議し、幼児教育・保育の提供にあたり、「量の見込み」と「確保方策」を見直した。また、南部地区の子育て支援施設の在り方について、委員の皆様からの意見を聴取するために適切な情報共有・提供を行った。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	第3期子ども・子育て支援事業計画策定に向けて、令和5年度中に子育て世帯等を対象にアンケート調査を実施するなどニーズ調査を行い、子ども・子育て会議で協議する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支援する環境を整備するため、第3期子ども・子育て支援事業計画を令和6年度中に策定する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 年 月 日

中施策事業名	放課後児童健全育成事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	

①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる
④中施策事業の対象	
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
児童クラブ待機人数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	5	5	5	5	5
	実績値	0	0			
単位	人					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			0千円	0千円	
人件費	a 事業費合計		0千円	0千円	0千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	0円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか			
	大施策に貢献していますか			
	重点をおく指標は妥当でしたか			
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)			
	自治体が関与するのは妥当ですか			
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか			
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか			

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 年 月 日

中施策事業名	心身障がい児通園施設管理運営事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子

①めざすまちの姿	30 子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている
②大施策	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばす環境をつくる
③中施策	好きなことができるように周りの大人の理解を深め、支援できるようにする
④中施策事業の対象	障がい児及びその家族、関係者等 (障がい児疑い含む)
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がいに応じた療育支援や相談を受けることにより、不安が解消され、将来への見通しが持てるようになる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・心身障がい児通園施設事業 ・どんぐり学園入園・園医依頼・報酬支払

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
どんぐり学園年間 登録人数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	50	50	50	0	0
	実績値	25	0			
単位	人					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			16,489千円	0千円	
人件費	a 事業費合計		16,489千円	0千円	0千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			16,489千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			240円	0円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか			
	大施策に貢献していますか			
	重点をおく指標は妥当でしたか			
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)			
	自治体が関与するのは妥当ですか			
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか			
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか			

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 10日

中施策事業名	児童発達支援センター事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子

①めざすまちの姿	30 子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている
②大施策	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばす環境をつくる
③中施策	好きなことができるように周りの大人の理解を深め、支援できるようにする
④中施策事業の対象	障がい児及びその家族、関係者等 (障がい児疑い含む)
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がいに応じた療育支援や相談を受けることにより、不安が解消され、将来への見通し が持てるようになる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援事業 ・ 保育所等訪問支援事業 ・ 親子療育教室 (たんぽぽ教室) ・ 発達評価、保育園等巡回相談事業

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
保護者等からの事業所評価において、各項目を達成していると回答があった割合	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	80	80	85	85
	実績値	0	83			
単位	%					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		0千円	88,512千円		
人件費	a 事業費合計	0千円	88,512千円	154,184千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	32,793千円	40,991千円	
③ コスト(①-②)		0千円	55,719千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		0円	810円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>総合評価 A</p> <p>保護者等からの事業所評価において、利用者等からの相談・申し入れに対して迅速的確に対応しているかや、子どもは利用を楽しみにしているかなど、適切な運営にかかる評価項目を達成していると回答があった割合は83.3%と、目標値である80%を上回った。令和4年4月に事業が開始し、受託事業者としても試行錯誤しながら運営していたと予想されるが、利用者等の要望を聞きながら創意工夫してきたため、目標値を上回ったと考える。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	モニタリングの結果や利用者からの要望について、受託事業者と共有し、業務改善に向けて協議をする場を定期的に設ける。また、令和5年度より人員配置を増加し、事業の拡充を行うため、運営等について合わせて受託事業者と協議する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	切れ目のない支援ができるよう、たんぽぽ教室利用終了後、入園までの間利用できるサービスの導入に向け、受託事業者と協議をする。 ダイナミックな遊びによる感覚統合や他児との関わりを促すため、園庭の遊具を充実する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等